

2024 年度交換留学(派遣) 報告書 ①

所属学科／研究科	文化財学科
留学先国	中国
留学先協定校	陝西師範大学
留学期間	約 11 ヶ月
留学時学年	2 回生
留学先での所属	国際漢語文化学科
渡航日／発着便	2024 年 2 月 26 日 関空→上海→西安
帰国日／発着便	2025 年 1 月 29 日 西安→関空
留学先で取得した単位数合計	49 単位
本学で認定された単位数合計 (※30 単位上限)	30 単位
海外留学助成金	20 万円 (前期 10 万円＋後期 10 万円)
検定試験合格者助成金	—
備考	—

留学成果レポート

■なぜ、派遣先国・派遣先大学への留学を希望しましたか？

大学に入学する以前から、留学をしたいと考えており、奈良大学の交換留学で韓国・中国の協定校があることを知りました。その時点で第二外国語の授業で中国語を履修していたことや、同じ学科で中国人の友人ができたこともあり、中国に留学したいと考えるようになりました。派遣先大学を選ぶ際には、大学の資料から、陝西師範大学は様々な国から留学生が集まっており、多くの留学生と関わることができそうだと感じたことと、西安は、兵馬俑をはじめとした遺跡や、陝西歴史博物館などの多くの博物館があり、考古遺物などの実物を見ることができ、歴史の理解を深めることができると考えたため、陝西師範大学に留学を希望しました。

■派遣先大学で、どのようなことを学習・研究しましたか？

主に中国語を学び、中国語のリーディング、リスニング、スピーキング、ライティングの授業を受講しました。選択科目では、中国舞踊、西安の歴史、中国の無形文化財などについて他の留学生たちと学びました。

休日には先輩や友人と博物館などに足を運び、中国や西安の歴史の理解を深めるとともに、考古学への興味も深まりました。

■留学するにあたっての目標は何でしたか？ 目標は達成できましたか？

HSK5 級を目標に、中国語のレベルの向上、生活や価値観、現地で長時間過ごさないとわからないことを感じる、知る事と、自分のおとなしい性格を改善すること。HSK5 級は合格できていませんが、現地で受験した HSK4 級で 229 点/300 点を獲得し、合格しました。実際に中国で生活し、中国の生活文化・慣習などについて理解を深めることができました。また、性格面でも、多くの友人ができ、自分から積極的に話したり、食事に誘ったりとするなど、以前の自分に比べて変わることができたと感じます。

■派遣先国・大学で、どのような国際交流を行い、どのような活動をしましたか？

留学生とは、普段の会話や、授業の中のディスカッションを通して、共通のテーマで、自分の国ではどうかを発表しあったりするなど、様々な価値観などを知ることができました。

日本語学科の生徒さんたちとは学年関係なく交流し、普段から日本と中国の生活や文化について話していました。

大きなイベントとしては、国際文化節に行われたイベントに日本語学科の友人たちと共に、日本ブースを出展しました。折り紙やけん玉などの体験ゲームを企画し、多くの人に足を運んでもらう事ができました。

■留学中、どんな困難や苦労がありましたか？またその困難をどう乗り越えましたか？

初めの頃は、中国語が全く聞き取れず、苦労しました。聞き取るだけでなく、話すことも上手くできなかったため、伝えたいことが伝えられないことが多く、苦労しました。授業も、はじめは全く聞き取れなかったため、毎日予習・復習をして、1か月くらいで徐々に聞き取れるようになりました。

■留学前と比べて「学習面」で成長できたと思う点はなんですか？

毎日の授業のおかげで、特に中国語の読解・リスニングの力が大幅に伸びたと感じています。留学中に受験した HSK 4 級に合格することができました。次は HSK 5 級や、中国語検定に挑戦したいです。

■留学前と比べて「人物面」で成長できたと思う点はなんですか？

留学前は、人に自分から話しかけたり、友達を作ったりすることなく、1人で過ごす事が多く、自分でもそのような自分の性格を直したいと感じていました。派遣先で過ごす中で、留学生や、中国人の学生たちに自分から話しかけることができるようになっただけでなく、一緒に遊びに行ったり、食事をしたりもできるようになりました。

また、以前は人に頼ることも苦手で、1人で抱えこみがちだったのですが、生活の中でわからない事や知らない事にたくさんぶつかる中で、困った時は人に頼る、ということもできるようになったと思います。他にも、留学生たちの明るい雰囲気の中で、少し肩の力を抜くこともできるようになったと感じています。

■今後、この留学経験をどう生かしていこうと考えていますか？

身に着けた中国語を就職活動や就職先で使えたらと思います。また、駅など、普段の生活の中でも、中国など海外からの旅行者を助けることができたと思います。

■留学は楽しかったですか？留学して良かったですか？留学を終えての感想を

とても楽しかったです。留学前の内気な性格からは想像もできないくらいたくさんの友人ができました。帰国してからも、日本の友人や親に、明るくなった、話しやすくなったと言ってもらえたことは良かったと感じています。また、最も大きな点は、自信がついたことです。これからの人生でも、この留学を乗り越えたことが支えになると思います。他には、自分も目で見ることの重要性も感じました。留学の少し前、日中関係が少し悪くなっているというニュースが報道されていた時期もありましたし、反日感情など、心配していた部分もありましたが、実際には、少なくとも私は、そのような人や場面に出くわすことはなかったため、実際に自分で体験する大切さも感じました。また、中国の都会的な町やテクノロジーの進んだ生活を実際に体験できたことは、大きな衝撃でしたし、中国の大学生たちの姿を見ることができたことも、刺激になりました。たくさんの国からの留学生と知り合ったことで、他の国で起きている事が他人事で無くなり、様々な国に親しみを感じるのと共に、国際情勢にも少し目が向くようになりました。この留学での経験を糧に、これからもがんばっていきたいと思います。

留学アドバイス

■中国・韓国及び派遣先大学の印象は？

西安は、ビルや大きなショッピングセンターなどの都会的な面と、遺跡や古い建築などの歴史的な面を両方感じられる町で、都会過ぎず、私には暮らしやすいと感じました。観光都市なので、人も親切で優しい印象を受けました。町は夜まで明るく、活気があります。外国人はあまり多くない印象があります。陝西師範大学は、キャンパスがとても広いです。特に国際漢語学院がある旧キャンパスは、木や花も多く、自然を感じられます。図書館も有名な建築家の設計した歴史ある建物で、伝統を感じます。中国の生徒はとても真面目で、朝早くから夜遅くまで

一生懸命勉強している印象があります。先生方や食堂のおばちゃん・おじちゃんも優しく、フレンドリーな人が多い印象があります。ご飯もおいしいです。

■留学して一番困った・大変だったことは？

渡航してはじめての頃は、中国語がほとんど聴き取れなかったことが大変でした。自分も中国語を話すことがうまくなかったので、伝えたい事を伝えることができず、苦勞しました。ルームメイトができてからの生活も大変でした。留学の最後の3 か月は、トルクメニスタンからの留学生と相部屋でしたが、仕切りなどもない一つの部屋で、文化も生活スタイルも違う人と住むのは初めてだったので大変でした。ルームメイトが来てからの1 週間はほとんど眠れませんでした。ルームメイトは中国語が全くしゃべれなかったため、会話も苦勞しました。翻訳アプリを使ったりしながら、嫌だと思ったことはきちんと伝えることも意識しつつ、お互いに気遣いながら生活しました。

■留学中の楽しかった・嬉しかったできごとは？

国際漢語学院で私の所属したクラスは、とても仲が良かったため、毎日の授業はとても楽しみでした。授業の後は留学生のクラスメートたちと学校の外に遊びに行ったり、一緒に食堂でご飯を食べたりしました。また、クラス主任の先生のご自宅に遊びに行き、みんなで餃子を作って食べたのも良い思い出です。後期には中国語にも少し慣れたため、選択科目を履修しました。授業の中で博物館に見学に行ったり、中国舞踊や伝統の影絵芝居を体験できたりしたことがとても楽しかったです。また、留学生のクラスメート数人で放課後に集まり、お互いに単語のクイズを出し合ったりして勉強したのも楽しい時間でした。日本語学科の生徒さんたちとも仲良くさせてもらい、日々の生活の中でも、一緒に学校の外に遊びに行ったり、食事をしたり、旅行に行ったり、日本語学科の遠足に参加させていただいたりしました。学内で行われた国際文化祭のイベントの際には、参加する日本人が私1 人だったため、日本語学科の生徒さんや日本人の先生と一緒に、日本ブースの運営をしました。時間もなく、分からないことばかりの中、たくさん助けてもらいながら、みんなでいろいろ話し合っ、放課後や授業の合間の休み時間に準備をしたのは大変でしたが、良い経験と思い出になったと感じます。この国際文化祭の際には、日本ブースを訪れてくれたたくさんの中国人の学生が、日本が好きだと言ってくれて、メッセージを書いて手渡してくれたり、逆に何か日本語でメッセージを書いてほしいと言われるなど、とても嬉しい気持ちになりました。それまではあまり日本を好きではない人もいたかもしれないと心配していましたが、認識が変わるきっかけになりました。

■留学先に持ってきて良かった・持ってくれば良かったと思ったものは？

証明写真は必ず持って行ってください。現地についてから作成・提出する書類に貼る証明写真が何枚か必要です。パスポート申請や学校の書類の申請の際に余った証明写真があれば、すべて持って行くと良いと思います。学校の近くに写真屋さんはありますが、日本から持っていくほうが良いと思います。肌に合う化粧品も必要です。私含め、たくさんの留学生が水が肌に合わず、ニキビや肌荒れに悩んでいました。気候も乾燥しやすいので、保湿できるものや、肌荒れに効果のある化粧品を持っていくことをお勧めします。服も持って行くと良いです。中国のネットでかわいいデザインのものも販売されていますが、服は日本より1, 5 倍ほど高い印象です。日本から持って行く方が良いと思います。アニメグッズも持って行くと良いと思います。留学生も中国人の学生もアニメが好きな人が多いです。ワンピースやハイキュー、コナンなどのグッズを持って行くと喜ばれるし、話のネタにもなると思います。必ずではないですが、あると便利なものとして、虫刺されの薬もおすすめです。暖かくなると、蚊がたくさん出ます。他にもサプリメントもおすすめです。食事に野菜が少ないので、ビタミンがとれるものがあると体調管理に役立つと思います。また、車に酔う事が多いので、車酔いをする人は、酔い止めの薬も持って行くことをお勧めします。逆にあまりいらなかったものとしては、シャンプー、生理用品などは学校の売店や学校周辺のスーパーに、LUXやPANTENEなどのシャンプーが売っています。また、硬水のため日本の製品が合わない時もあります。生理用品も、日本のメーカーの製品が売っています。他にも、変圧器も必要なかったです。スマホ・パソコンの充電器は、ほとんどが中国でもそのまま使えます。ただしドライヤーは日本のものが使えないため、現地で買うことをお勧めします。

■留学中のお金の管理はどうしていましたか？

私は仕送りなどはせず、日本から日本円で現金を持って行き、中国に着いてから銀行口座を作り、銀行に預けていました。その都度必要な分だけ日本円から人民元に両替できました。私は、はじめの渡航で40万円ほど持って行き、夏休みの一時帰国の際、さらに50万円ほど持って行きましたが、最終的に40万ほどが使わずに余り、持って帰りました。A r i p a y は、日本のクレジットカードを紐付けていたため、そこから使うこともありました。

■派遣先大学での生活環境はどうでしたか？

留学生寮は、麵食堂の横にあります。基本的に二人一部屋で、新しい部屋と古い部屋があります。学期（半年）ごとの寮費は、新しい部屋は5000元、古い部屋は、2100元です。1年分の学費をまとめて払うこともできます。新しい部屋は、トイレ・シャワーがきれいで、シングルベッドがあり、古い部屋はトイレ・シャワーが古く、下段が机の二段ベッドです。また、すべての部屋にエアコンがついており、電気代・水道代は、WeChat の公式アカウントから払うことができます。（システムがよく変わるので確実ではないです。）部屋の空具合によりませんが、運が良ければ1人で部屋を使えることもあります。途中でルームメイトができることもあります。食事は、食堂で食べていました。留学生寮の向かいに一番大きな食堂があります。寮の隣にはハラルの食堂、果物屋さん、麵の食堂もあります。安ければ1品7元ほどから、高くても20元は超えないくらいの値段で食べられます。各食堂、営業時間やメニューが違います。寮の隣には、小さなスーパーもあるため、日用品やお菓子、水を買うことができます。食堂・スーパーは、キャンパスカードで支払いでき、キャンパスカードは、食堂にある機械などから、現金でチャージできたので便利でした。

■派遣先大学での課外活動はどんなものがありましたか？

留学生が参加できるクラブ・サークルはほぼ無いようでした。私の周りの留学生にも、クラブ・サークルに参加している人はいませんでした。

■どのような国籍の留学生がいましたか？

国際漢語学院では、前期は日本人は私1人、後期は、社会人の留学生が3人、半年と一年間の予定で留学に来ておられました。後期のはじめには、都留文科大学の3人の学生さんが、20日間の短期留学に来ておられました。留学生は国籍が多様で、私が知り合っただけでも、26か国の人がいました。韓国、ロシア、中東からの留学生が少し多いと感じますが、ほかにも東南アジア、アフリカ、南米、ヨーロッパなど、広い範囲から留学生が集まっていると感じます。

■渡航前にすべきこと・やっておいたほうが良いことは？

中国では、ほぼ全ての連絡を WeChat でするので、日本でアカウントを作っておいてください。ただし、長期間利用しないしていると、使えなくなることもあるようなので気をつけてください。次に VPN の契約です。私は2社の VPN を契約して行きましたが、現地ではつかえなかったり、Wi-Fi との相性で使えないことがあるため、3社ほど契約しておくと思いいます。セカイVPN、MillenVPN がおすすめです。スマホについては、中国国内で使う S i m カードをスマホに差し込まなければならないため、特に iPhone を使用している人は、日本で使っている Sim カードがあれば、e-Sim にしておくと思いいます。また、渡航して初めの一か月、生活基盤を整えるのに、10万円ほどかかります。Aripay に日本のクレジットカードを紐付ける、日本円を人民元に換金して持って行くなどすると良いと思いいます。

■渡航後にすべきこと・やっておいたほうが良いことは？

まずは SIM カードの契約・電話番号を作ることです。電話番号がないと、銀行口座を作ることができません。次に銀行口座を作ることです。学校の老西門を出ですぐに中国銀行の支店があるので、そこで申し込みをすると便利です。混んでいる時期だと口座開設の手続きができるまで何日か待つこともありますので、最初に申し込んでおいてください。学校に着いたら、国際漢語学院の事務所に行き、在留届、健康診断の書類や申し込み、寮の部屋決めをしてください。他には、校内 Wi-Fi の契約もしておくと思いいます。キャンパスの中に中国移动の支店があるため、そこで1年間校内 Wi-Fi 無制限（200元ほど）のプランを契約するのがおすすめです。契約無しだと、寮や教室は1か月2、5GB ほどしか W i - F

i が使えません。

■今後の派遣留学生にむけてアドバイスを

優しく親切な人が多いです。特に学校の中では、物怖じせず、どんどんいろんな人に話しかけたり、頼ったりすると良いと思います。中国語の勉強も、師範大学の先生なので、授業もとても分かりやすいですし、日本と同じように毎日授業に出て、宿題も提出していれば、大丈夫です。日本語学科の生徒さんや、留学生同士と一緒に勉強すると定着しやすいと思います。先生方も、質問に喜んで答えてくださるので、どんどん質問してください。学校の外に出るときは、不安であれば、友人をさそって色んな所に遊びに行ってください。遺跡や博物館など、歴史的な観光地も多いので、ぜひいろいろなところに行ってみてください。中国留学は不安に思う人が多いと思いますが、1人で遠くまで外出したりタクシーに乗ったりしないなど、自分で気をつけていれば、そこまで危険ではない印象です。SNS や報道のみの情報だけでなく、実際に自分の目で見てみてほしいですし、かけがえのない友人ができたりしますので、ぜひ挑戦してみてください。